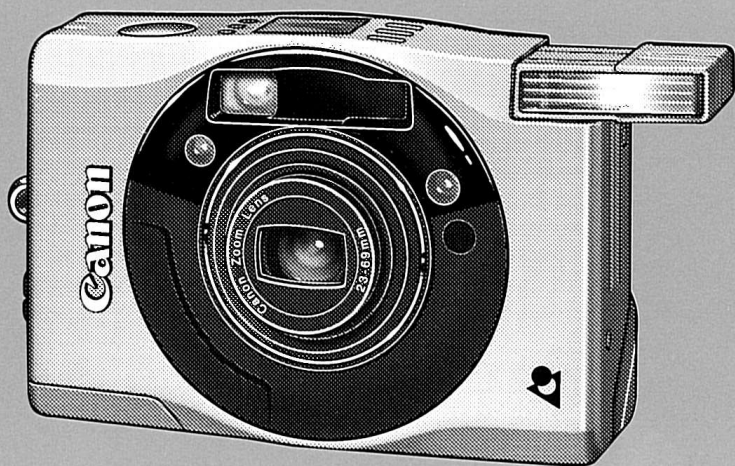


Canon

IXY330



はじめに

基本編

応用編

資料編


ADVANCED
PHOTO SYSTEM™

J
日本語版

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。
カメラをご使用前にこの使用説明書をよくお読みになり、
カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使い
ください。

目次

●本書の構成

この使用説明書は、はじめに、基本編、応用編、資料編と段階的に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は「はじめに」から順にお読みください。

■本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書かれています。



カメラの基本操作に加え知っておいていただきたい事項が書かれています。

はじめに

目次	2
安全上のご注意	4
Advanced Photo System (APS) の特長	8
APS早わかり	10
操作早わかり	12
各部の名称	14
ストラップ・ケースの取り付けと使い方	17

基本編

① フィルムを入れる	18
フィルム感度と最大撮影枚数を確認する	19
② 電源を入れる	20
電池をチェックする	21
③ カメラを構える	22
④ ファインダーをのぞく	23
近距離撮影範囲枠について	24
⑤ プリントタイプを切り換える (C/H/P)	25
⑥ 写したいものの大きさを決める	26

7	シャッターをきる	27
	緑ランプ／オレンジランプについて	28
8	フィルムを取り出す	29
	現像・プリントに出すには	30
	撮影後のカートリッジフィルムの取り扱い等について	30
9	電池を交換する	31

応用編

	ストロボモードを変える	32
1	ストロボオート／赤目緩和なし	33
2	ストロボオート／赤目緩和	34
	赤目緩和撮影機能について	35
3	ストロボONモード	36
4	ストロボOFFモード	37
5	スローシンクロ／赤目緩和	38
	フォーカスロック撮影 (写したいものをファインダーの端に置いて撮影する)	39
	リアルタイムリリースモード	40
	AiAF機能について	42
	ガラス越しの撮影について	42
	セルフタイマー撮影	43
	リモコンを使った撮影	44
	リモコンの電池交換	45
	日付／時刻を記録する	46
	日付モードの切り換え	47
	日付／時刻を設定・修正する	48
	タイトルを記録する	50
	各言語のタイトルを選ぶ	51
	カートリッジ途中交換機能について	52
	撮影途中のフィルムを入れるには	53
	プリント枚数を指定する	54

資料編

	こんなときは	56
	Q&A	57
	主な仕様	58
	アフターサービスについて	裏表紙

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

その他の絵表示の例 行為を禁止する記号



禁止



接触禁止

○ 記号は、行為を禁止する内容を告げるものです。

○ の中に具体的な禁止内容が書かれています。

警告（電池について）



このカメラで指定されていない電池は、使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



電池を火の中に入れてたり、分解、加熱、ショートは絶対しないでください。また、水の中に入れてたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



リチウム電池など充電できない電池を無理に充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



電池を取り外した場合は、お子様の手の届かないところへ置いてください。万一、飲み込んだ場合、電池が壊れて電池の液で胃、腸等が冒される恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。



万一、カメラ（電池）が熱くなる、煙がでる、焦げ臭い等の異常状態が起こった場合、そのまま使用すると火災、火傷の原因になります。火傷には、十分注意しながら速やかに電池を取り出し、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



電池を廃棄する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。



電池の「+」と「-」の接点を正しく入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



警告（ストロボについて）



車の運転者等にもむけてストロボを発光しないでください。事故の原因となります。



ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。



ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、ストロボ部に触らないでください。火傷の原因となります。



警告（その他取り扱いについて）



自分でカメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。



落下等により、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



カメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。



カメラは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。








湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電の原因となります。



自動車などの運転中に運転者は、カメラを絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。

注意（その他取り扱いについて）

-  カメラ（特に金属製のもの）を高温状態の車の中に放置したり、熱いものの近くに置いたりしないでください。カメラ自体が高温になり、触ると火傷の原因となることがあります。
-  カメラ（特に金属製のもの）を低温状態中に放置したりしないでください。カメラ自体が低温になり、触るとけがの原因となることがあります。
-  カメラをストラップで下げているときは、他の物に引っ掛かったりしないように注意してください。けがをする原因となることがあります。
-  カメラを三脚に取り付けたまま移動しないでください。つけたまま移動するとつまずいたり、ぶついたりしてけがや事故の原因となることがあります。また、三脚はカメラ・レンズに対して十分に強度のあるものをご使用ください。
-  万一、カメラごと水に落としたり、内部に水が入った場合は、電池を抜いて、速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

はじめに

フィルム未装填でストロボ連続発光（30回以上）を行うと、ストロボの発熱防止のため、カメラが作動しなくなる場合があります。この場合は、いったん電源を切り、数分してから電源を入れてください。



アドバンスド フォト システム Advanced Photo System

このカメラはAdvanced Photo System (以下APSと呼ぶ) 対応のカメラです。このAPSとキヤノンの先進小型化技術により、従来のカメラよりさらに小型の3倍ズームカメラを実現させました。

APSのおもな特長をご紹介します。

① 新・フィルム

新フィルム「IX240カートリッジフィルム」はリーダー部分のない小型「カートリッジ」を使用。これにより今までわずらわしかったフィルムの出し入れが、誰にでも手軽に行えるようになりました。

また、フィルムが未使用 (○)、撮影途中 (D)、撮影済 (⊗)、もしくは現像済 (□) かどうか使用状態マーク面の使用状態マークによって見分けることができます。

使用状態マーク



- 未使用
- D 撮影途中
- ⊗ 撮影済
- 現像済

② カートリッジ途中交換機能

途中で巻き戻したフィルムを再度カメラにセットすると、自動的に未撮影コマまでフィルムを巻き上げて、そこから続きを撮影することができる機能です。撮影テーマごとや種類、感度の異なった複数のフィルムをいつでも入れ換えて撮影することができます。

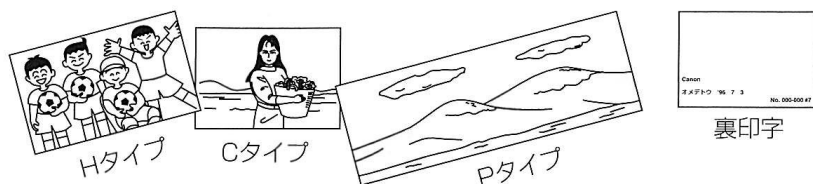
★この機能に対応していないカメラに、撮影途中フィルムを入れると撮影済みフィルムとして認識されます。各カメラの機能をご確認ください。

(APS) の特長

③ 新・プリントタイプ

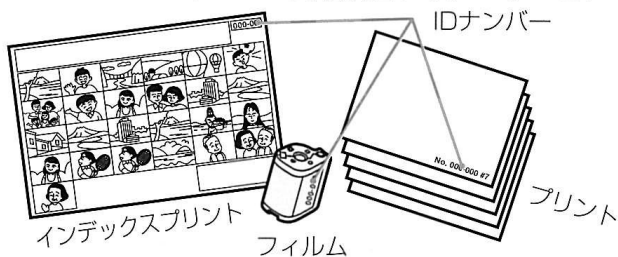
従来のプリントタイプ（Cタイプ）に加え、ワイドなHタイプ、パノラマのPタイプの3種類の撮影が可能になりました。また撮影日時を写真の裏面または両面に、タイトル文字を写真の裏面に印字することができるようになりました。

★文字の大きさ、形状、色、印字位置、両面印字の可否などは、現像店によって変わる場合があります。



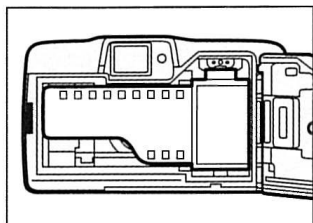
④ 新・写真現像法

従来の135（35mm）フィルムは現像すると、フィルムはネガシートに入った状態で返却され、再注文（焼き増し）をするときは、ネガを光に透かすなどして、1枚1枚の写真を確認していました。しかしAPSでは、認定店へ現像に出せばネガはカートリッジに巻き込まれた状態でインデックスプリントとともに返却されます。従来のような見にくいネガではなく、このインデックスプリント（撮った写真がすべて一覧できるプリント）を見てどれを焼き増しするか選びます。焼き増しをするときは、焼き増しをしたい写真の裏面またはインデックスプリントに書かれているIDナンバーと同じIDナンバーのフィルムを現像店に持っていき、焼き増ししたい写真を番号で指定するシステムです。

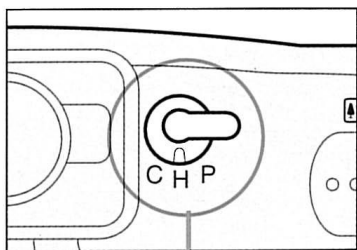
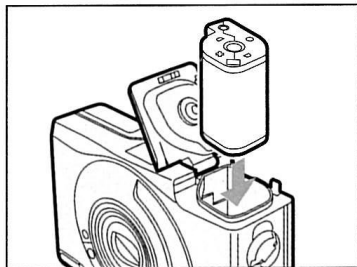


はじめに

APS早わかり



従来のフィルム



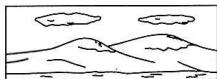
プリントタイプ切り換えレバー



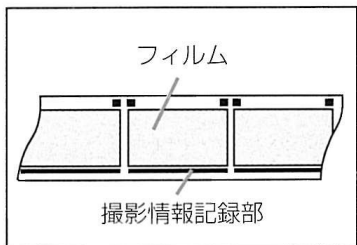
Cタイプ



Hタイプ

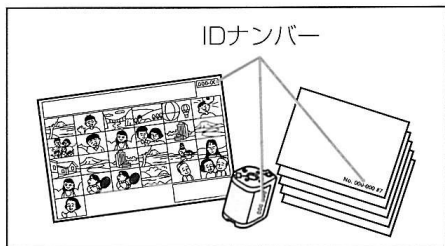


Pタイプ



フィルムに記録される情報例

- ・日付やタイトル
 - ・プリントタイプ
 - ・プリント枚数指定
 - ・ストロボON/OFF
 - ・写したときの明るさ
- など



認定店のマーク

詳しくは参照ページ（→ ■）をご覧ください。

1 フィルムの出し入れはワンタッチです。(→18)

- 従来の135（35mm）フィルムのように背ぶたを開けて、フィルムのリード部分を引き出したりするなどの面倒な準備は必要ありません。

2 プリントタイプ切り換えレバーでプリントタイプを決められます。(→25)

→ プリントタイプが3つ選べます。

- 従来と同じCタイプ
- ワイドなHタイプ
- パノラマのPタイプ

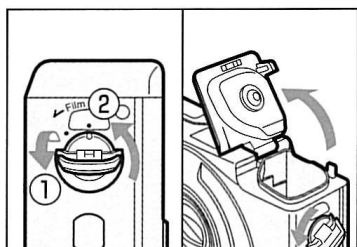
3 いろいろな磁気情報（IX情報）がフィルムに記録されます。

- フィルムには左に挙げたような情報が撮影時に記録されます。
- 撮影時の情報を利用して写真をプリントするため、高品質のプリントが得られます。

4 撮り終わったフィルムは、左のマークがある認定店で現像できます。(→30)

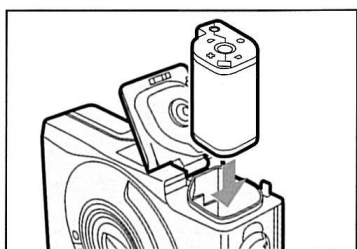
- 現像後、写真とインデックスプリント、カートリッジ入りフィルムが返却されます。
- 認定店で焼き増しをするときは、インデックスプリントまたはプリント裏面のIDナンバーと同じフィルムを出し、焼き増しする写真を番号で指定します。

操作早わかり



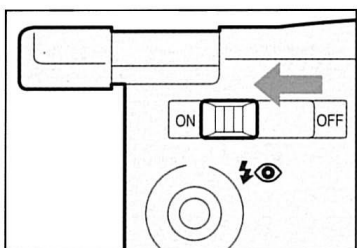
1 カートリッジ室ふたを開ける。(→18)

- カートリッジ室ふた開つまみを起こし①、左に回転させて②、ふたを開きます。



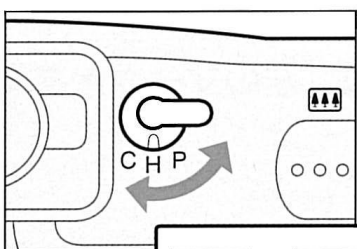
2 フィルムを入れ、ふたを閉める。(→18)

- カートリッジの使用状態マークが○(未使用)または、D(撮影途中)であることを確認してください。



3 メインスイッチをON側へスライドさせて電源を入れる。(→20)

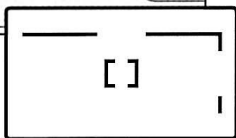
- ➔ レンズとストロボがセットされます。



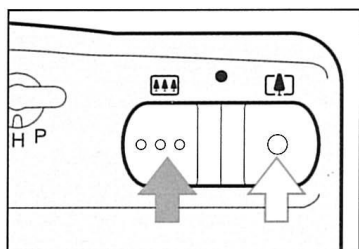
4 プリントタイプ切り換えレバーでプリントタイプを決める。(→25)

- ➔ ファインダーの画面が切り換わります。

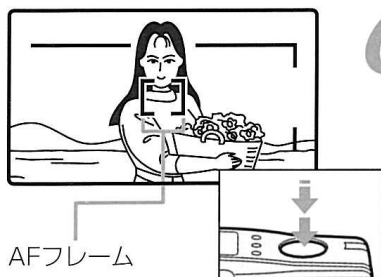
(Hタイプ)



詳しくは参照ページ (→ ■) をご覧ください。

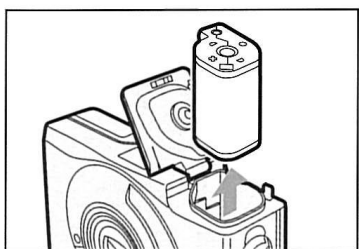


5 ズームボタンを押して、写したいものの大きさを決める。(→26)



6 AFフレームを合わせ、シャッターボタンを押す。(→27)

→ 逆光や暗い所ではストロボが自動的に発光します。

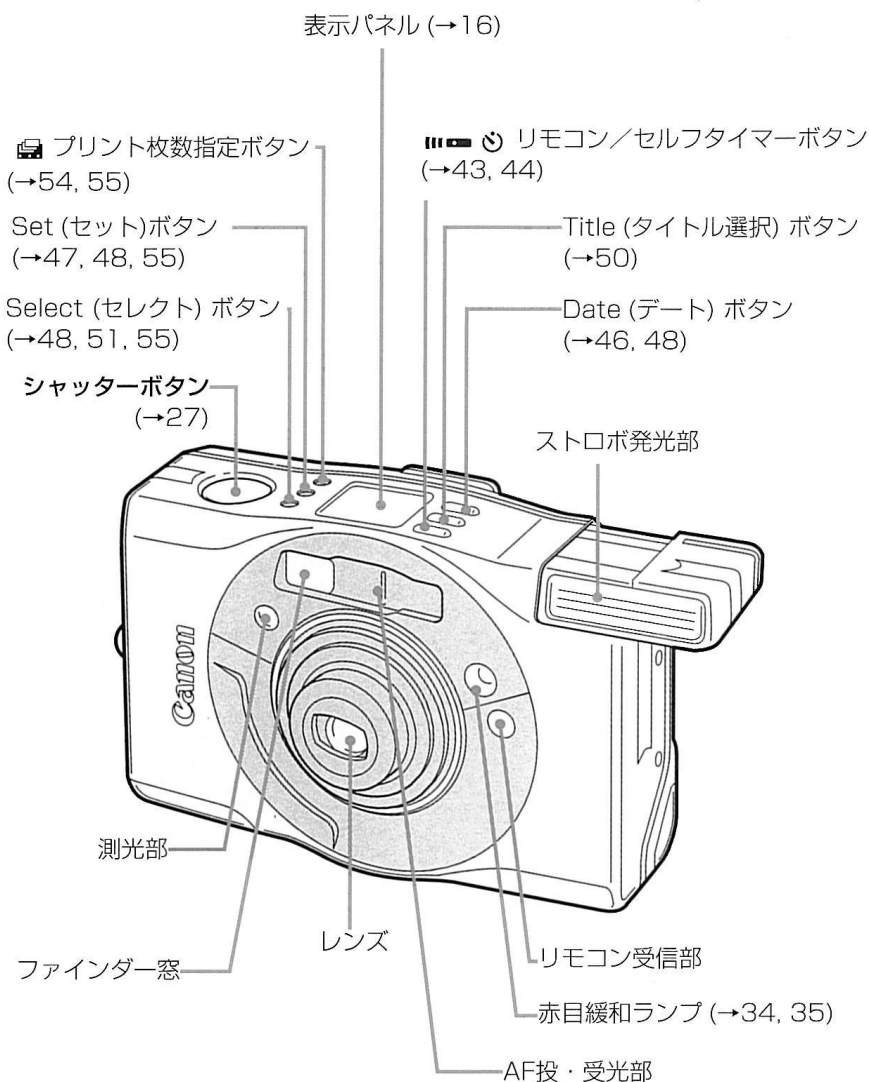


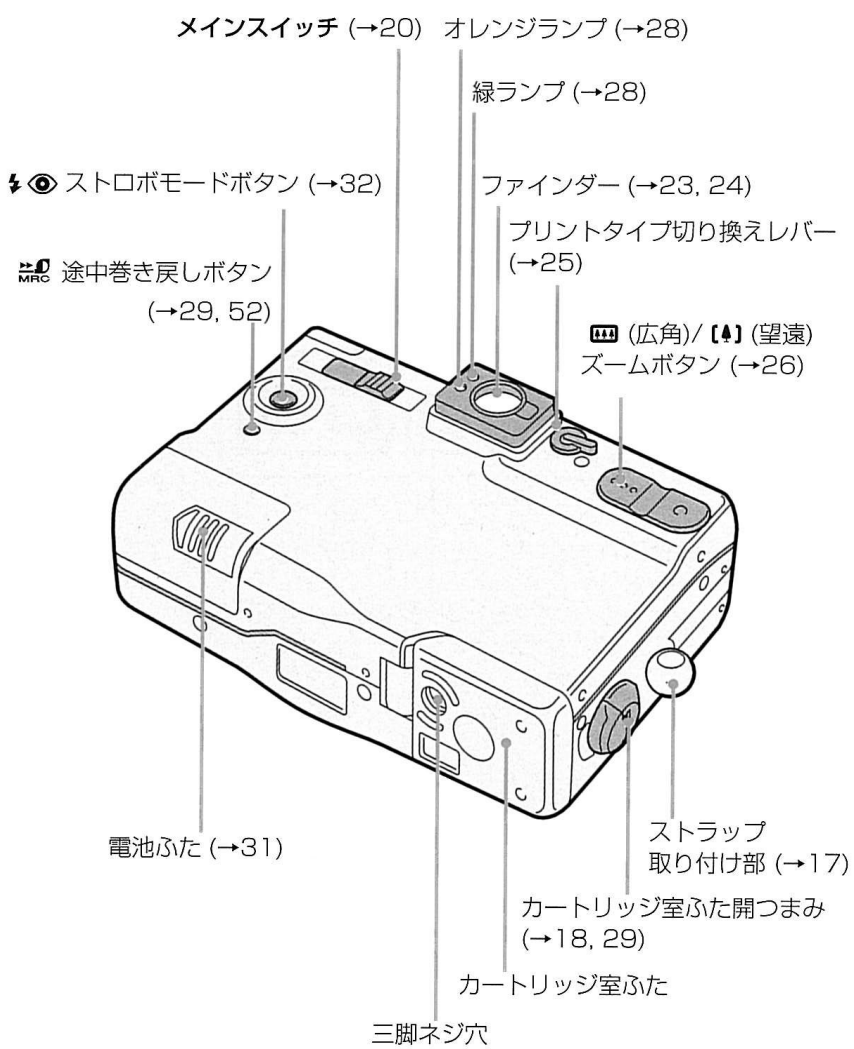
7 撮影が終わり、フィルム巻き戻しが終わったらフィルムを取り出す。(→29)

- 表示パネルの ■ マーク点滅を確認してからカートリッジ室ふたを開けます。
- フィルムを取り出し、カートリッジ室ふたを閉じます。

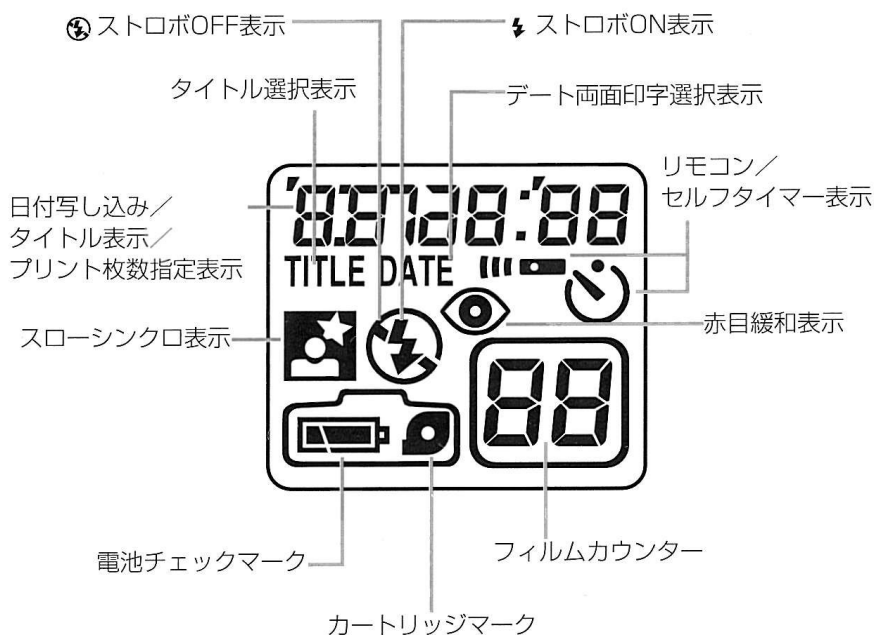
各部の名称

(→ ■) は、参照ページです。



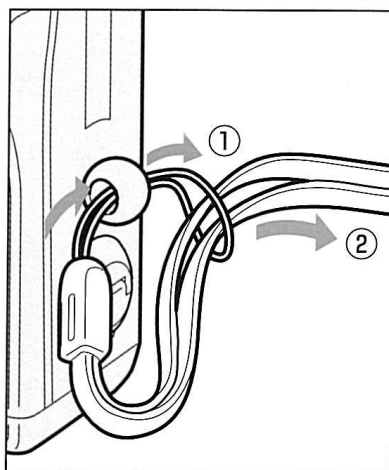


表示パネル (通常は必要な情報だけが表示されます)



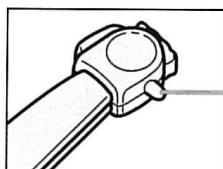
ストラップ・ケースの取り付けと使い方

カメラを落とさないように、付属のストラップをカメラに取り付けて使用します。



横のストラップ取り付け部にストラップを通す。

● ①～②の順に通します。

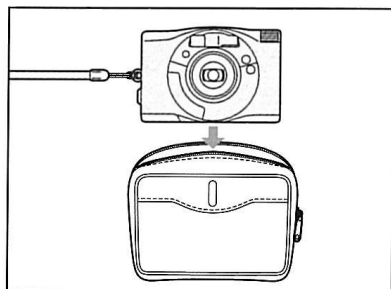


ボタン押し突起



● ボタン押し突起は、Selectボタン (→48)、Setボタン (→47)、プリント枚数指定ボタン (→54)、途中巻き戻しボタン (→29) の操作に使用します。

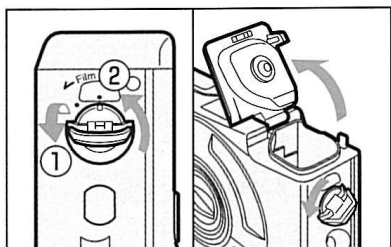
ケースの使い方



ケースのカバーを開け、カメラを入れる。

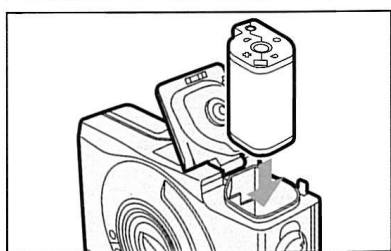
● ケース内側のポケットにリモコンを収納できます。

1 フィルムを入れる



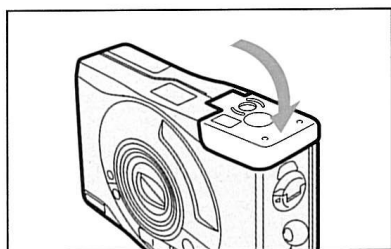
1 カートリッジ室ふたを開ける。

- カートリッジ室ふた開つまみを起こし①、左に回転させて②、カメラ底面のふたを開きます。




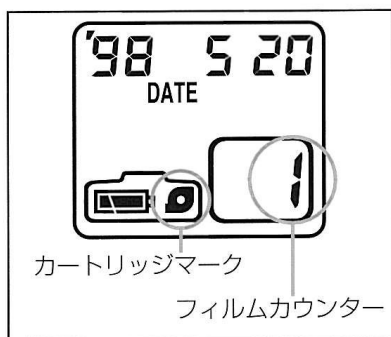
2 フィルムを入れる。

- フィルムの使用状態マーク側を外側に向けて入れます。



3 カートリッジ室ふたを閉める。

- カチッと音がするまで閉じます。
- ➔ 表示パネルの  マークが点灯します。



4 自動的にフィルムが送られフィルムカウンターに「1」が表示される。

- 「1」が表示されないときは、正しくフィルムが入っているか確認します。
- D (撮影途中) マークのフィルムを入れると、カメラが自動的に未撮影コマまでフィルムを送り、フィルムカウンターにこれから撮影するコマの数値が表示されます。

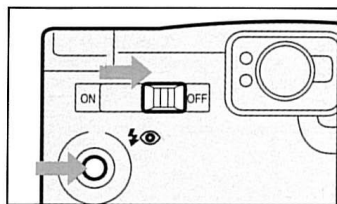
カートリッジフィルムについて

- IX240カートリッジフィルムをご使用ください。
- 従来の135（35mm）フィルムは使用できません。
- フィルムの使用状態マークが○（未使用）かD（撮影途中）マークであるものをご使用ください。

- （未使用）マーク
- D（撮影途中）マーク



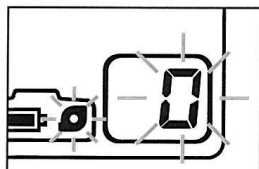
フィルム感度と最大撮影枚数を確認する



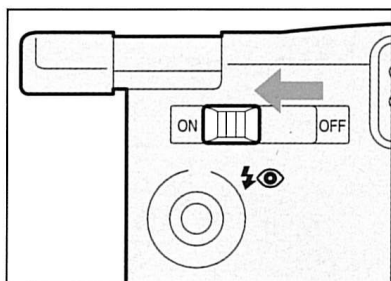
- 電源を切り、⚡👁 ボタンを押します。
- ➔ データ表示部にフィルム感度、フィルムカウンターにフィルムの最大枚数が表示されます（左の図は、フィルム感度がISO200でフィルムの最大撮影枚数が25枚の場合）。



- ☒（撮影済）や☐（現像済）マークのフィルムを入れると、フィルムカウンターの「0」と☐マークが点滅します。○（未使用）かD（撮影途中）マークのフィルムを入れ直してください。



2 電源を入れる



メインスイッチをON側へスライドさせる。

- レンズとストロボがセットされます。
- ストロボモードはストロボオート（全自動撮影）に設定されます。

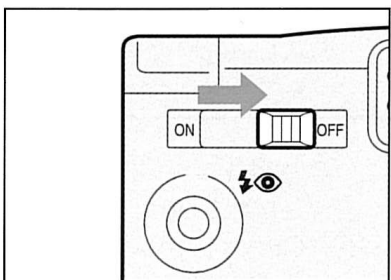


- レンズを手で押さえないでください。
- 撮影時にストロボを押し込まないよう注意してください。ストロボが発光しなかったり、電源OFFとなることがあります。




- レンズははじめ広角側（23mm）にセットされます。

電源を切るには

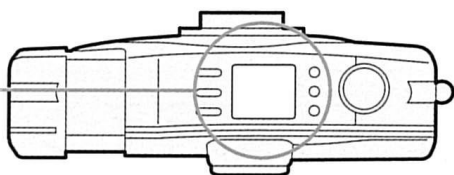
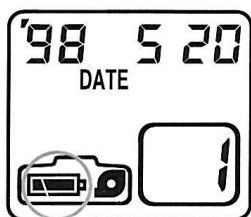


メインスイッチをOFF側へスライドさせる。




電池をチェックする

電源を入れたとき表示パネルに  が表示されていることを確認します。

新品電池の寿命は、25枚撮りカートリッジで約8本（ストロボ50%使用時／当社試験条件による）が目安です。



電池チェックマーク

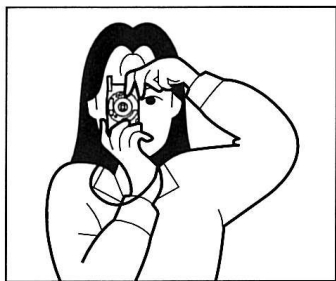
-  （点灯）電池の容量は十分です。
-  （点灯）新しい電池を用意してください。
-  （点滅）新しい電池と交換してください。
（→31）



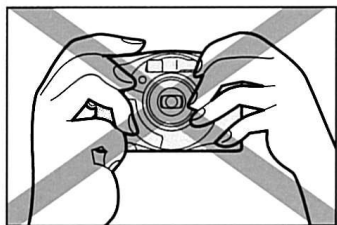
- 電池はリチウム電池CR2タイプを1個使用します。
- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- 旅行のときや、写真をたくさん撮られるときは、予備の電池をご用意ください。特に海外では電池の入手が困難なことがあります。
- ストロボで連続して撮影をすると、電池の能力が一時的に低下し、正しい表示が出ない時があります。一度電源を切り、しばらく待ってから電源を入れ直してください。

3 カメラを構える

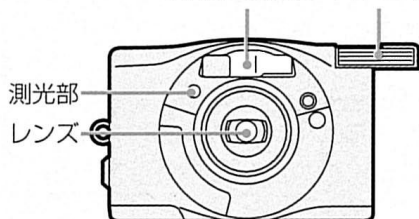
シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。



- 両手でカメラを持ちます。
- ひじを体に軽くつけます。
- カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。

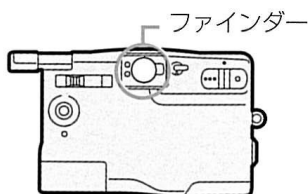


AF投・受光部 ストロボ



- カメラを構えるときは、レンズ、AF投・受光部、測光部、ストロボなどに髪や指がかからないように注意してください。
- ストロボを押し込まないように注意してください。電源がOFFになります。
- AF投・受光部が汚れているとピントが合いにくくなります。汚れなどはきれいにふき取ってから撮影をしてください。

4 ファインダーをのぞく



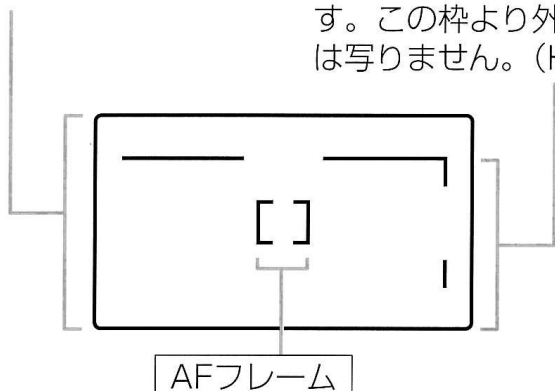
ファインダー内の名称

撮影範囲枠

この枠内で構図を決めます。
(Hタイプ)

近距離撮影範囲枠

撮影距離が0.6～1mのときはこの枠内で構図を決めます。この枠より外側の範囲は写りません。(Hタイプ)



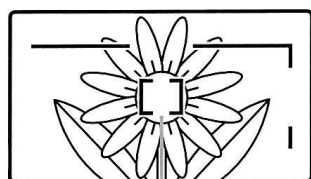
AFフレーム

写したいものにこのマークを合わせます。

近距離撮影範囲枠について

撮影距離0.6～1mでは、ファインダーで見える範囲と実際に写る範囲にずれが生じるため、近距離撮影範囲枠より外側は写りません。

撮影距離0.6～1mでは、近距離撮影範囲枠を利用して次の手順で撮影してください。



AFフレーム

- 1 写したいものにAFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押す。

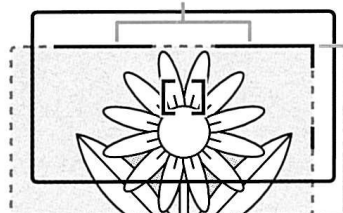
- 緑ランプの点灯を確認します。
- シャッターボタンは軽く押したままにしておきます。



近距離撮影範囲枠

- 2 写したいものが近距離撮影範囲枠の中にくるよう構図を変え、撮影する。

- 写したいものからの距離は変えないでください。



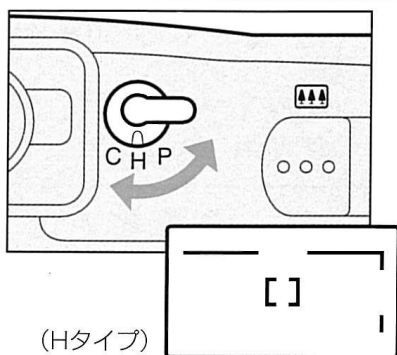
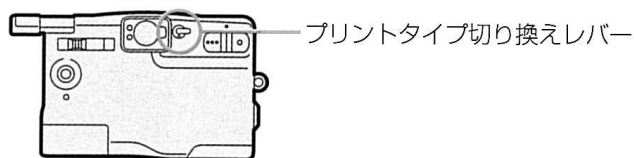
実際に写る範囲



- Pタイプではファインダーで見える範囲と実際に写る範囲のずれが大きいため2m以上離れて撮影してください。

5 プリントタイプを切り換える

このカメラでは、Cタイプ、Hタイプ、Pタイプの3種類のプリントタイプを選ぶことができます。

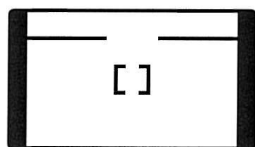


プリントタイプ切り換えレバーでプリントタイプを切り換える。

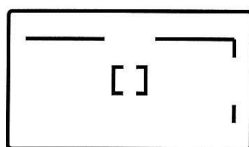
- 一枚ごとに途中切り換えできます。

プリントタイプ切り換えレバーを切り換えることで、ファインダーが変わります。黒い部分はプリントされません。

Cタイプ



Hタイプ



Pタイプ



写したいものに合わせ、お好みのプリントタイプを選びます。



- 撮影距離0.6～1mのときは近距離撮影範囲枠より外側の範囲は写りません。
- Pタイプでは2m以上離れて撮影してください。

6 写したいものの大きさを決める

ズームボタンで、写したいものの大きさを変えることができます。



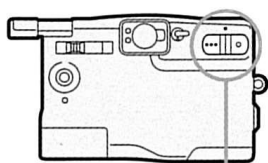
▲▲▲ 広角 (23mm)

風景や集合写真など広い範囲を撮影するときに使用します。



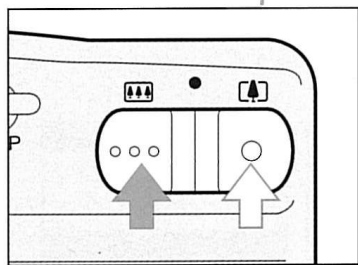
▲ 望遠 (69mm)

人物のアップなど写したいものを大きく撮影するときに使用します。



ズームボタンを押す。

- **▲** を押すと望遠側に、**▲▲▲** を押すと広角側にズームします。

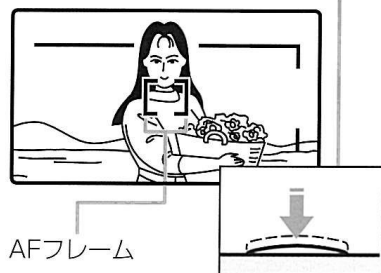
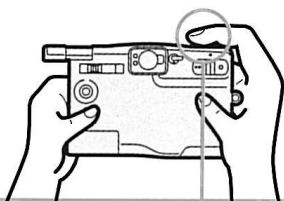


- 電源を入れるとレンズははじめ広角側 (23mm) にセットされます。
- レンズが望遠側に繰り出されたまま約4分放置されるとレンズ保護のため自動的に収納され、広角側にセットされます。

7 シャッターをきる

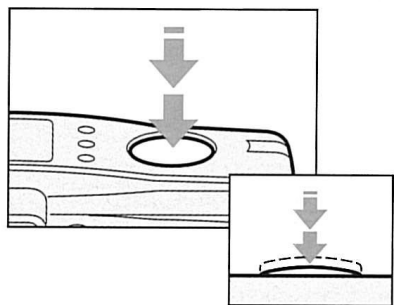
シャッターボタンは二段階になっています。
一段目で露出とピントが合い、二段目でシャッターがきれます。
中抜けしにくいAiAF機能ですから、中央部から写したいものが多少ずれてもピントが合います。

AiAF機能について (→42)



1 写したいものにAFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押す。

- ピントが合います。
- 緑ランプが点灯したことを確かめます。
- シャッターボタンは押しただまにします。



2 そのままさらにシャッターボタンを押す。

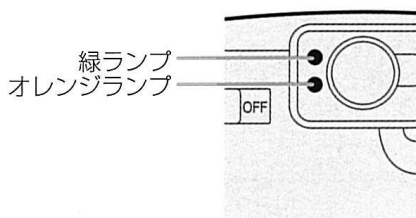
- ゆっくり、静かに押ししてください。
- シャッターがきれます。



- シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまで、ほんのわずかですが間があります。撮影完了の目安となるフィルム巻き上げ音がするまでカメラを構えたまま動かさないでください。

緑ランプ／オレンジランプについて

シャッターボタンを軽く押したときランプの点灯や点滅で撮影の準備を知らせます。



緑ランプ

点灯：撮影準備完了（ピント合わせ完了）

点滅（4回／秒）：近距離警告※1

点滅（2回／秒）：リアルタイムリリースモード（→40）

オレンジランプ

点灯：ストロボ充電完了

点滅（4回／秒）：手ぶれ警告（ストロボOFF時）※2





- ※1 ● 近距離警告が出たら、点滅しない距離まで離れてシャッターボタンを押し直します。
近距離警告範囲はC、Hタイプ時30～60cm、Pタイプ時30cm～2mです。30cmより近づいた場合でも緑ランプが点灯する場合があります。近すぎないように注意してください。

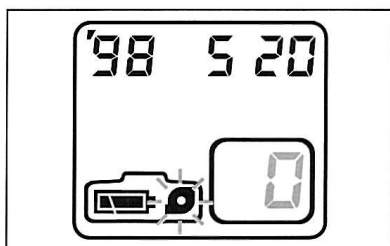
- ※2 ● 手ぶれ警告が出たら三脚などの使用をおすすめします。

8 フィルムを取り出す



フィルムを最後まで撮り終わると自動的にフィルムが巻き戻されます。

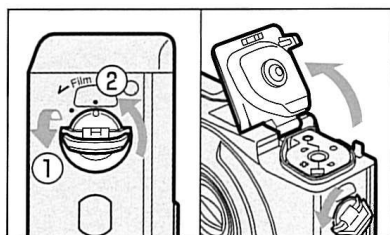
巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていき、巻き戻しが完了すると  マークが点滅します。

表示パネルの  マークの点滅を確認してから、フィルムを取り出します。



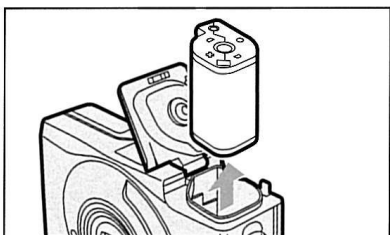
1 マークが点滅していることを確かめる。

-  マークが点滅していないときは  途中巻き戻しボタンを押します。





2 カートリッジ室ふたを開ける。

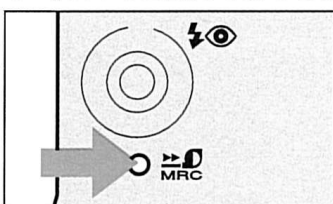
- カートリッジ室ふた開つまみを起こし①、左に回転させて②、ふたを開きます。





3 フィルムを取り出す。

- 表示パネルの  マークが消えます。
- フィルムの使用状態マークが  (撮影途中) になります。

フィルムを撮り終える前に取り出すには



-  途中巻き戻しボタンを押します。
- フィルムの使用状態マークが  (撮影途中) になります。
- 途中巻き戻しで取り出したフィルムは、再度装填することができます。(→52)

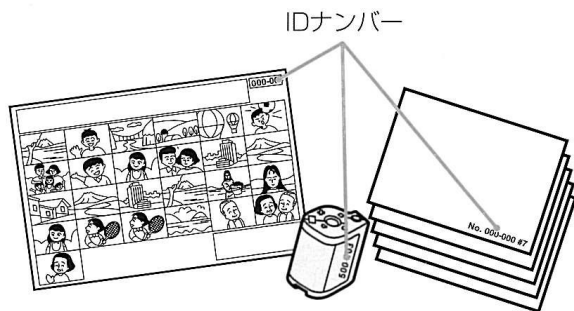
現像・プリントに出すには

- 店頭で右のマークがある認定店に出すと現像・プリントができます。
- ★ 認定店では以下のサービスを受けることができます。
 - ① カートリッジ入りフィルムの返却
 - ② 3種類のプリントタイプ
 - ③ インデックスプリントの作成
 - ④ プリント品質の向上
 - ⑤ 日付・タイトルの裏印字




撮影後のカートリッジフィルムの取り扱い等について

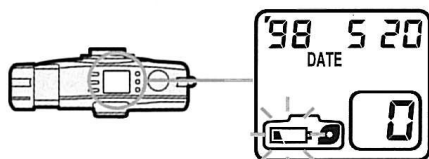
- 認定店で焼き増しをするときは、焼き増しをしたい写真の裏面、またはインデックスプリントに書かれているIDナンバーとフィルムのIDナンバーが同じかどうかを確認の上、フィルムをお出しください。



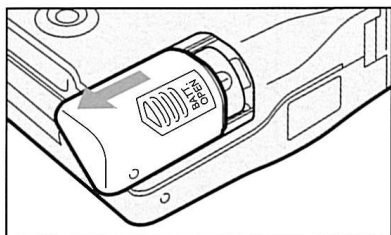
- 現像後に返却されるカートリッジフィルムとインデックスプリントは大切に保管してください。
- 撮影が終わったフィルムのマークは ☹ (撮影済) に、現像が終わったフィルムの使用状態マークは □ (現像済) になります。
- カメラやフィルムをテレビやスピーカーなど、強い磁力を発生する機器に近づけないでください。


9 電池を交換する

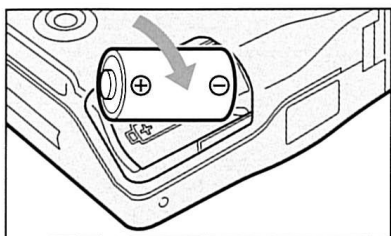
表示パネルに  が点滅したときは、新しい電池と交換します。(→21)




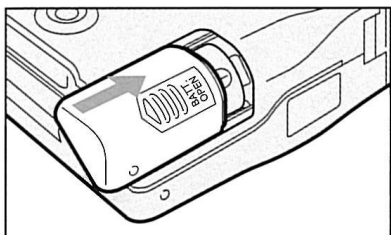
【使用電池】
リチウム電池CR2タイプ
1個使用



- 1 電池ふたを開く。**
- 電池ふたの  表示を押しながら、電池ふたをスライドさせて取り外します。



- 2 新しい電池を入れる。**
- + を正しく合わせて新しい電池を入れます。
 - ➔ 表示パネルに  が表示されます。



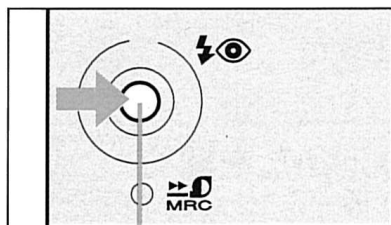
- 3 電池ふたを閉じる。**
- 電池ふたをスライドさせながら取り付けます。
 - ➔ 電池交換で表示パネルの日付が「-- --」で点滅したときは、日付と時刻を設定し直します。(→48)



- 電池を抜いてからカメラのスイッチを何も押さないようにして約5秒以内に電池を交換すると、日付／時刻がそのまま保持されます。

ストロボモードを変える

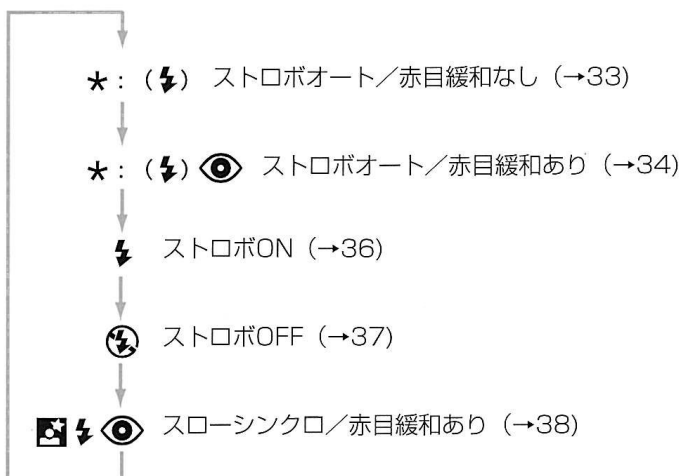
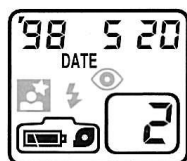
写したいものや撮影場所に合わせて、ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。ストロボモードの変更は電源を入れた状態で行います。



⚡👁️ ストロボモードボタン

⚡👁️ ボタンを押す。

● 表示パネルで確認できます。



* : (⚡) は、ストロボが自動発光するときに、シャッターボタンを軽く押すと表示されます。



● ストロボを押し込まないよう注意してください。ストロボが発光しなかったり、電源OFFとなることがあります。

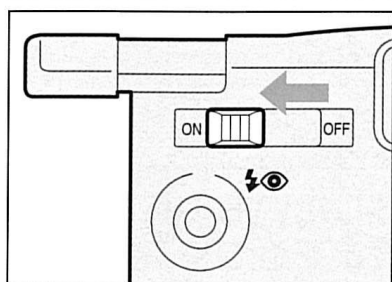


● 工場出荷時は、電源ONで (⚡) となるよう設定されていますが、電源ONで (⚡👁️) となるように変更したいときは、(⚡👁️) の状態で電源を切ると、再度電源を入れたときに (⚡👁️) にセットされるようになります。もとに戻すときは、(⚡) の状態で電源を切ります。

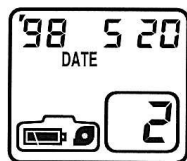
1 ストロボオート／赤目緩和なし

人物以外の撮影、または人物の撮影でも赤目緩和機能を使用せずにすぐにシャッターをきりたいときは、このモードにします。

また逆光時や暗いときは、シャッターボタンを押し込むと同時にストロボが自動的に発光します。



メインスイッチをON側へスライドさせて、電源を入れる。





ストロボの届く距離

(ネガカラープリント用カートリッジフィルム使用時)

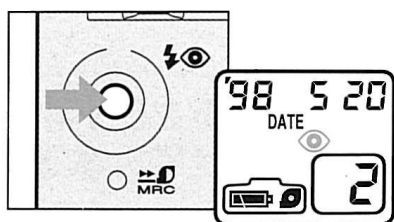
フィルム感度	広角	望遠
ISO100	0.6m～4.4m	0.6m～2.0m
ISO200	0.6m～6.2m	0.6m～2.8m
ISO400	0.6m～8.8m	0.6m～4.0m





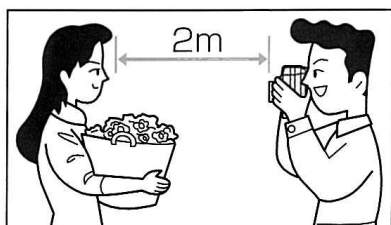
● 表示パネルに  が表示されている場合は、ストロボモードの表示がすべて消えるまで  ボタンを押します。

2 ストロボオート／赤目緩和...

暗い場所などでの撮影で人物の赤目を緩和したいときは、このモードにします。シャッターボタンを押すと赤目緩和ランプが点灯し、ストロボが発光します。

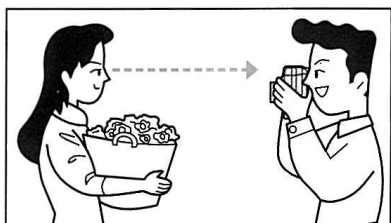


1  ボタンを押し、表示パネルに  を表示する。



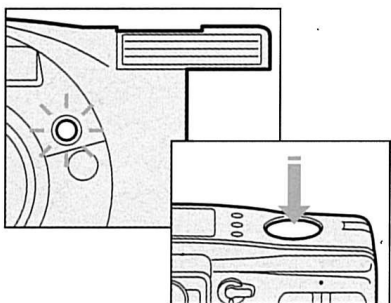
2 写したいものに2m程度まで近づく。

- 赤目緩和ランプは2mまでが効果的です。



3 声をかけてカメラを注視してもらう。

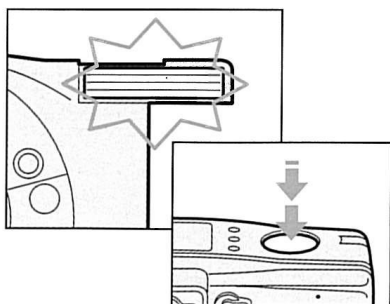
- 写される人がまっすぐランプを見ないと赤目緩和の効果が出ません。



4 シャッターボタンを軽く押す。

- ➔ 赤目緩和ランプが点灯します。このとき約1秒間はシャッターがきけません。
- シャッターボタンは押しただままにします。

ストロボモードを変える



5 約1秒間が過ぎたらさらにシャッターボタンを押す。


→ストロボが発光しシャッターがきれます。

赤目緩和撮影機能について

暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象と言い、ストロボの光が目網膜に反射して起こります。

●赤目緩和モード時はストロボ発光の前に赤目緩和ランプを約1秒間点灯させることで写る人のひとみを小さくし、赤目現象の発生を緩和します。



●赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために約1秒間シャッターはきれません。すぐにシャッターをきりたいときは  ボタンで赤目緩和機能をOFFにして撮影します。

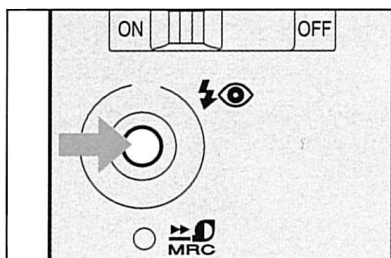


赤目緩和機能で撮影するときの注意

1. この機能は、写される人がランプを注視していないと効果がありませんので、写される人にランプを注視するように声をかけてください。
2. 写したい人から2m以内に近づいて撮影します。
3. 赤目緩和効果の度合には個人差があります。
4. レンズを広角側にして撮影します。
5. 室内はできるだけ明るくしてください。

3 ストロボONモード..... ⚡

撮影場所の明るさに関係なくいつでもストロボが発光します。日中の逆光時や写したいものの影をやわらげるのに有効です。



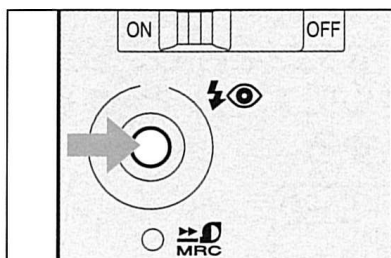
⚡👁 ボタンを押し、表示パネルに⚡を表示する。





ストロボモードを変える

4 ストロボOFFモード

撮影場所が暗くても、ストロボが発光しません。
夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、
室内照明を利用しての撮影をするときに有効です。



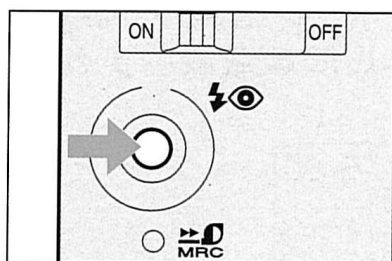
 ボタンを押し、表示
パネルに  を表示する。








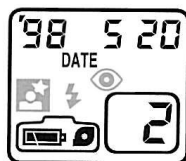
- 暗い場所でのストロボOFFモード撮影は、シャッタースピードが遅く（最長約2秒）になるので手ぶれに注意してください。
- オレンジランプが点滅（手ぶれ警告）したときは、しっかりした台の上に置くか、三脚などを利用してください。

5 スローシンクロ／赤目緩和 ...

スローシンクロは、夕暮れや夜景などを背景にして人物を撮影するとき効果的な機能です。シャッタースピードを低速にすることでストロボの光が届かない遠くの背景まで写し込むことができます。



  ボタンを押し、表示パネルに  と  と  を表示する。



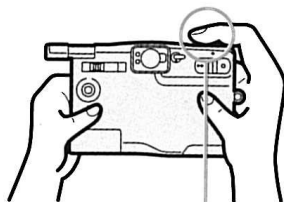
- スローシンクロでは、シャッタースピードが遅く（最長約2秒）なりますので、必ず三脚などを利用し、カメラを固定してください。また、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにしてください。



- スローシンクロのときには赤目緩和機能がはたらきます。
- 撮影条件によっては、ストロボオートで撮影したほうがきれいな写真が撮れる場合がありますので、スローシンクロとストロボオートの両方で撮影しておくことをおすすめします。

フォーカスロック撮影

写したいものをファインダーの端において撮影するときは、フォーカスロック撮影をします。



1 AFフレームを合わせ シャッターボタンを軽く 押す。

- ピントが合うと緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンは軽く押したままにします。



2 軽く押したまま構図を 決め、さらにシャッター ボタンを押す。

- シャッターがきれます。

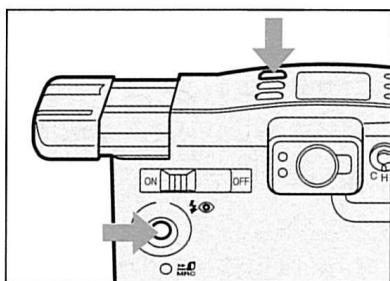


● 写したいものとカメラの距離が変わらないように注意してください。距離が変わったときは、やり直してください。

リアルタイムリリースモード

通常の撮影は、緑ランプの点灯を確認したあとさらにシャッターボタンを押すとわずかに間をおいて実際の撮影が行われますが、リアルタイムリリースモードでは、瞬時（0.03秒後）に撮影を行うことができます。

子供の表情や動きの変化など、一瞬のシャッターチャンスをとらえるときは、このモードにします。



1 ⚡👁 ボタンと ボタンを同時に押す。

→ 緑ランプが点滅（2回／秒）します。



2 AFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押したままにする。

→ 一瞬ズームするような音がします。

- 緑ランプが点滅（2回／秒）したことを確かめます。
- フォーカスロック撮影は、通常撮影と同様に行うことができます。（→39）





- シャッターボタンを一気に押した場合は、リアルタイムリリースとなりません。
- 写したいものとカメラの距離が変わらないように注意してください。距離が変わったときは、やり直してください。
- レンズにさわらないよう注意してください。ピントが合わなくなることがあります。











3 シャッターチャンスがきたら、そのままさらにシャッターボタンを押す。

→ 瞬時にシャッターがきれ
ます。

リアルタイムリリースモードを解除するには

-  ボタンと  ボタンをもう一度同時に押すか、電源を切ります。



- ストロボモードは 、、、 を、おすすめします。
、、、 では通常の撮影モードと同じように赤目緩和のため、約1秒間シャッターはきれません。

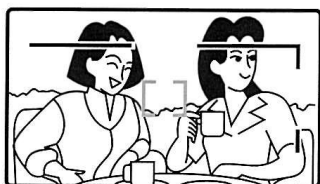


- 中央1点測距に自動セットされますので、ファインダー中央のAFフレームを写したいものに合わせます。

AiAF機能について

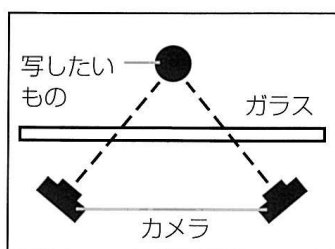
Ai = Artificial intelligence: 人工知能、
AF=オートフォーカス

AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピントを合わせるところを的確に判断する最新のメカニズムです。これは数千点の写真を分析し、そのデータとキヤノン独自のノウハウに基づき開発された機能です。



- 写したいものが中央になくても、手前に障害物があっても的確にピントを合わせます。このため2人並んでいる写真でピントが背景に合っておきる「中抜け」などを防ぎます。

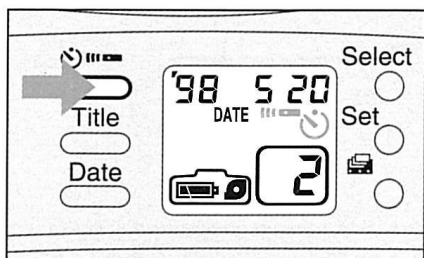
ガラス越しの撮影について



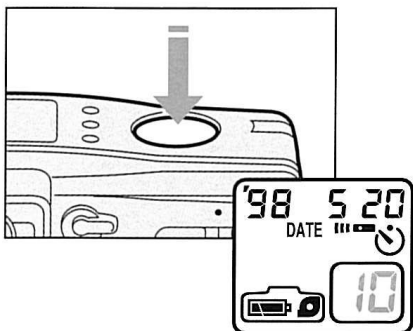
ガラス越しで撮影するときは、ガラス面から約20cm離れて、斜めの位置から撮影します。なお、離れすぎるとガラスにピントが合うことがあります。



セルフタイマーを使うと、カメラから離れて撮影することができます。カメラはしっかりと台の上に置くか、三脚を利用してください。セルフタイマーとリモコンのセットは電源を入れた状態で行います。



- 1 ボタンを押す。
→ 表示パネルに と が表示されます。



- 2 構図を決め、シャッターボタンを押す。
→ 赤目緩和ランプが点滅（1回/秒）し、約10秒後にシャッターがきれれます。
→ 表示パネルでカウントダウンします。

セルフタイマーを途中でやめるには

- ボタンをもう一度押します。



- カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピントがボケる原因となります。

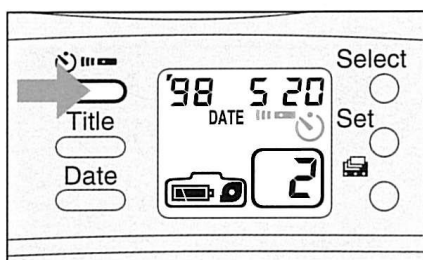
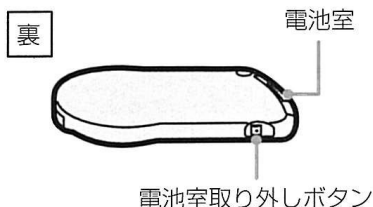


- シャッターがきれれる約2秒前になるとランプの点滅がさらに速くなります。ただし、赤目緩和機能がはたらくと、シャッターがきれれる約2秒前に点滅から点灯に変わります。
- セルフタイマー撮影は が表示されている約4分間有効です。

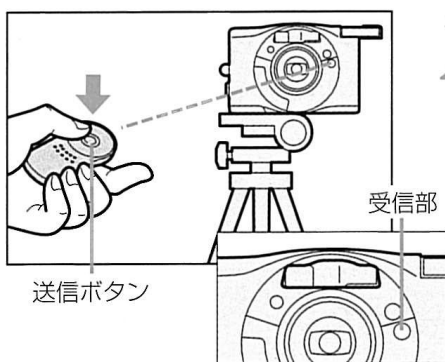
リモコンを使った撮影

リモートコントローラー（リモコン）を使用するとカメラの正面から約5m離れて撮影できます。

リモコン (RC-5) の各部名称



- 1 **☰☷と☺ ボタンを押す。**
 → 表示パネルに ☰☷ と ☺ が表示されます。



- 2 **構図を決めて送信部をリモコン受信部に向け、送信ボタンを押す。**

→ リモコンの受信は、赤目緩和ランプ点灯または点滅で確認できます。赤目緩和を行う場合は点灯、行わない場合は点滅して約2秒後にシャッターがきれます。

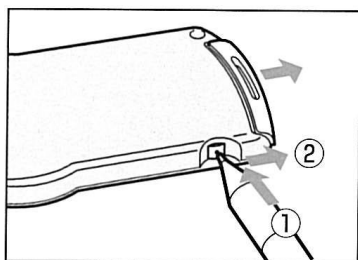
リモコンを使った撮影をやめるには

- ☰☷と☺ ボタンを押して、表示パネルの ☰☷ と ☺ 表示を消します。

リモコンの電池交換

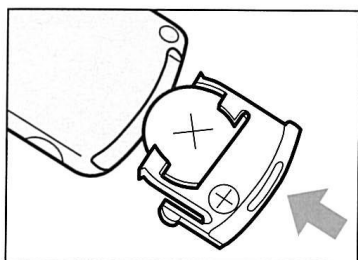
リモコン撮影でシャッターがきれなくなったら、新しい電池と交換してください。

使用電池：リチウム電池CR 2032 3V、1個を使用します。



1 電池室取り外しボタンを押しながら電池室を取り出す。


- ボールペンなどの先端で電池室取り外しボタンを押しながらスライドさせます。



2 新しい電池を入れ、電池室を戻す。

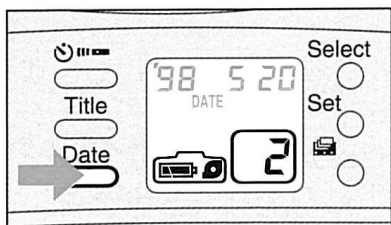
- 古い電池を取り出し＋を正しく合わせて新しい電池を入れます。



- が表示されている約4分以内に送信ボタンを押せば、続けてリモコン撮影できます。
- カメラをしっかりと台の上におくか、三脚などをご利用ください。
- リモコン受信部に太陽や蛍光灯の光が強くあたっていると、リモコン撮影できないことがあります。このようなときはセルフタイマーで撮影するか、カメラを移動してください。
- リモコン受信状態時にインバータ式蛍光灯が近くにあると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤作動することがあります。この場合はカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。

日付／時刻を記録する

撮影した日付や時刻を写真の裏面もしくは両面に印字することができます。



Dateボタンを押す。

- ボタンを押すたびにモードが変わります。

表示パネルのデート表示

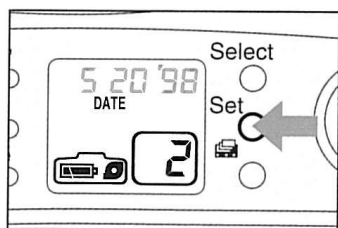


- * 表示パネルには日時分 (20 14:25) が表示されますが、印字は日付モードで選択した年月日／月日年／日月年と時分の組み合わせ (例：'98 5 20 14:25) で行われます。



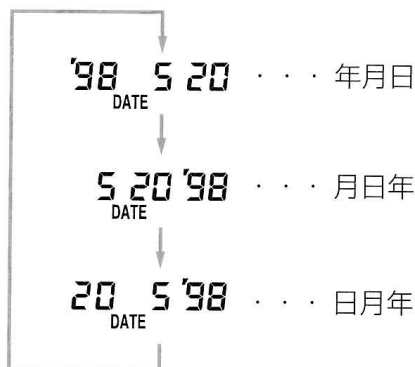
- 文字の大きさ、形状、色、印字位置、両面への印字の可否は現像・プリント店によって変わる場合があります。
- 日付・時刻とタイトルは、フィルムに写し込むのではなくフィルムにカメラが磁気記録したデータ (IX情報) を元に、プリント時に印字されるものです。
- 写真の裏面には日付や時刻のほかに、カートリッジのIDナンバーとその写真が、フィルムの何枚目かを表すコマ数が印字されます。

日付モードの切り換え



日付モードでSetボタンを押し、日付の種類を変える。

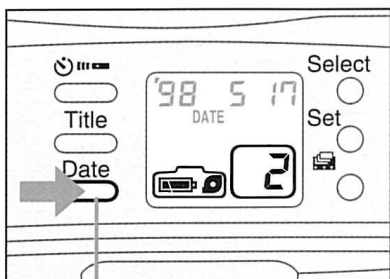
- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。
- ➔ 年月日→月日年→日月年の順に表示が切り換わります。



日付／時刻を設定・修正する

電池を交換したときや海外旅行などで日付／時刻を設定・修正するときは次のような手順で行います。

電池交換で日付が「-- --」点滅表示になったときは手順2、3、4、6の順に行います。

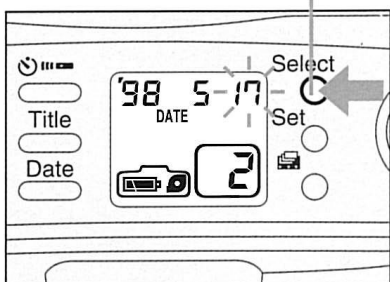


Date (デート) ボタン

1 Dateボタンを押す。日付モードを表示する。

- 時刻の修正は日付＋時間モードで行います。

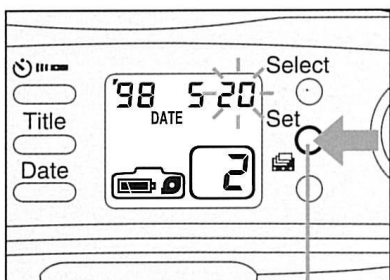
(手順5)



Select (セレクト) ボタン

2 Selectボタンを押す。

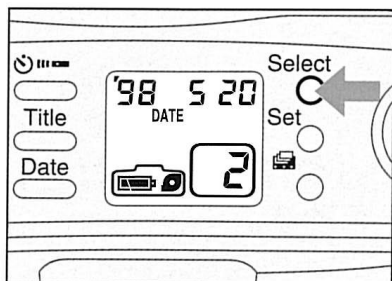
- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。
- ➔ 電池を交換したときは、「-- --」点滅表示が「98 1 1」となります。
- 修正する数字を点滅させます。



Set (セツト) ボタン

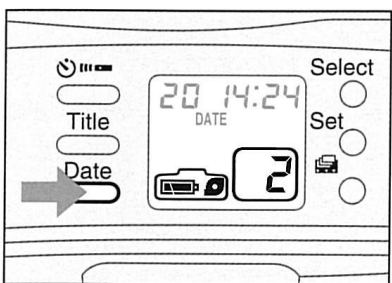
3 Setボタンを押す。

- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。
- 点滅した数字が正しい数字になるまで押します。

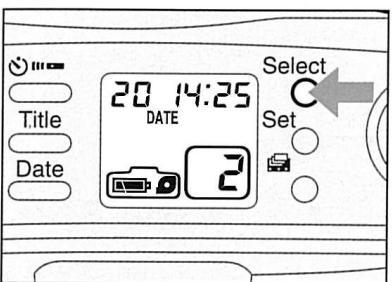


4 全ての数字の設定・修正が終わるまで2と3を繰り返し、最後にSelectボタンを押す。

- 点滅している数字がなくなれば日付設定は完了です。



5 Dateボタンを押し、日付+時間モードを表示する。



6 全ての数字の設定・修正が終わるまで2と3を繰り返し、最後にSelectボタンを押す。

- 「:」が点滅しなくなれば時刻設定は完了です。



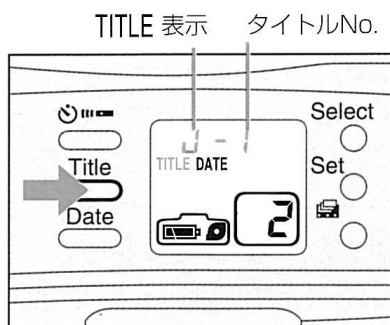
- 電池交換で表示パネルの日付が「-- --」点滅（デート印字なし）になったときは、日付と時刻の両方を設定します。



- Setボタンは1回押すと1つ進み、2秒以上押し続けていると連続送りになります。
- 日付+時間モードでは日付を設定・修正できません。
- 電池を抜いてから、カメラのスイッチを何も押さないようにして約5秒以内に電池を交換すると、日付/時刻がそのまま保持されます。

タイトルを記録する

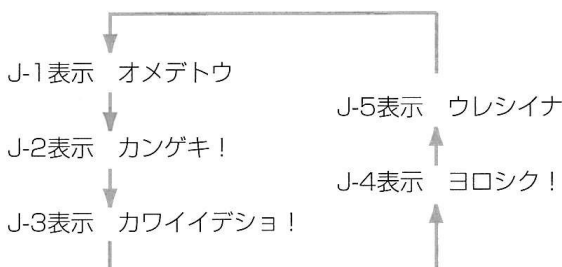
タイトルを写真裏面に印字することができます。タイトルの選択は電源を入れた状態で行います。



Title (タイトル選択) ボタンを押す。

- ➔ 表示パネルに TITLE 表示とタイトルNo.が表示されます。
- ➔ ボタンを押すたびにタイトルNo.が変わります。
- 希望するタイトルを選んで撮影します。

日本語タイトルの内容



タイトルの記録をやめるには

- Date (デート) ボタンを押し、表示パネルの TITLE 表示を消します。



- タイトルは1枚撮影するごとに日付/時刻に戻ります。継続したいときは、Titleボタンを2秒以上押し、表示パネルの TITLE を点滅表示させてください。
- 文字の大きさ、形状、色、印字位置、対応言語などは現像・プリント店によって変わる場合がありますので、事前に現像・プリント店にご確認ください。
- デート機能で設定した日付や時刻も、同時に記録して印字されます。
- 表面印字を希望される場合は、事前に現像・プリント店にご確認ください。

各言語のタイトルを選ぶ

TITLE 表示時にSelectボタンを押すと、タイトルの言語を、J (日本語)、E (英語)、F (フランス語)、D (ドイツ語)、ES (スペイン語)、I (イタリア語) の順番で6言語から選択できます。

英語のタイトル内容

- E-1 I LOVE YOU
- E-2 THANK YOU
- E-3 SEASON'S GREETINGS
- E-4 HAPPY BIRTHDAY
- E-5 CONGRATULATIONS

フランス語のタイトル内容

- F-1 JE T'AIME
- F-2 MERCI
- F-3 MEILLEURS VOEUX
- F-4 JOYEUX ANNIVERSAIRE
- F-5 FÉLICITATIONS

イタリア語のタイトル内容

- I-1 TI AMO
- I-2 GRAZIE
- I-3 BUONE FESTE
- I-4 BUON COMPLEANNO
- I-5 CONGRATULAZIONI

ドイツ語のタイトル内容

- D-1 ICH LIE BE DICH
- D-2 DANKE SCHÖN
- D-3 HERZLICHE GLÜCKWÜNSCHE
- D-4 FRÖHLICHE WEIHNACHTEN
- D-5 FROHES NEUES JAHR

スペイン語のタイトル内容

- ES-1 TE QUIERO
- ES-2 GRACIAS
- ES-3 FELICES PASCUAS
- ES-4 FELIZ CUMPLEAÑOS
- ES-5 FELICIDADES

各言語タイトルの日本語での意味

E、F、ES、I

- 1表示 愛しています
- 2表示 ありがとう
- 3表示 メリークリスマス
- 4表示 お誕生日おめでとう
- 5表示 おめでとう

D

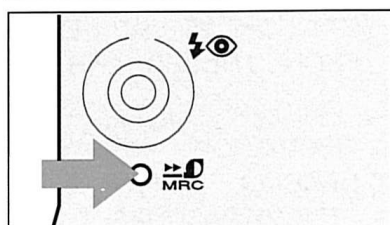
- 1表示 愛しています
- 2表示 ありがとう
- 3表示 おめでとう
- 4表示 メリークリスマス
- 5表示 明けましておめでとう

カートリッジ途中交換機能について


このカメラは、APSの大きな特長のひとつである「カートリッジ途中交換機能」に対応しています。

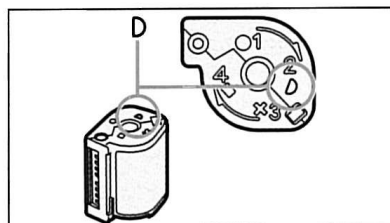
この機能は、途中で巻き戻したフィルムを再度カメラにセットすると自動的に未撮影コマまでフィルムを巻き上げて、そこから続きを撮影することができるという便利な機能です。この機能を活用すると、撮影テーマごとや種類、感度の異なった複数のフィルムをいつでも入れ換えて撮影することができます。

フィルムを撮り終える前に取り出すには





 **途中巻き戻しボタンを押す。**

- 巻き戻しがはじまります。
- 巻き戻し完了（表示パネルの  マークの点滅）を確認してから、フィルムを取り出します。
- フィルムの使用状態マークが D（撮影途中）マークになります。

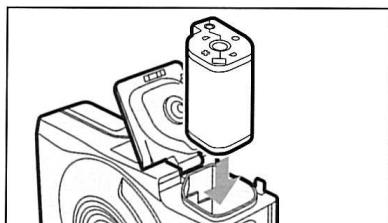


MRC : MID ROLL CHANGE



- フィルム巻き戻し中に表示パネルの  マークとフィルムカウンターが点滅した場合はフィルム巻き戻し中に不都合が生じたことを示しています。この場合は一度電池を入れ直してから再度  途中巻き戻しボタンを押します。それでも作動しない場合は、電源を切って、お近くのキヤノンサービスセンターにお持ちください。

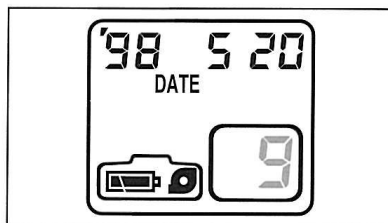
撮影途中のフィルムを入れるには



「フィルムを入れる」と同じ手順で撮影途中フィルムを入れる。

(→18)


→ カメラが自動的に未撮影コマまでフィルムを送ります。



未撮影コマまでのフィルム送り所要時間

フィルムの撮影状態	所要時間
1枚撮影済み、2コマ目セットの場合	約16秒
39枚撮影済み、40コマ目セットの場合	約35秒



● テレビ塔のような強い電波や磁気の発生する場所では、撮影途中のフィルムを入れてもフィルムを送らない場合があります。このときは表示パネルのフィルムカウンターの「0」と  マークが点滅して警告します。警告が出た場合は撮影途中のフィルムを取り出してください。

なお、この現象が起きた場合でも、未使用フィルムのセットはできます。

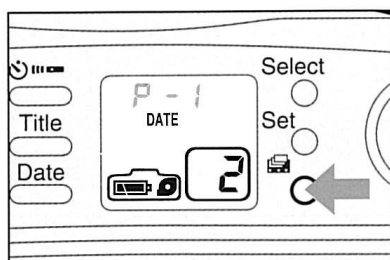
● カートリッジ途中交換機能に対応していないカメラ（例：キヤノンIXYなど）に、撮影途中のフィルムを入れることはできません。カメラに入れるとフィルム送りはされず、撮影済み状態にセットされてしまいますので注意してください。

プリント枚数を指定する

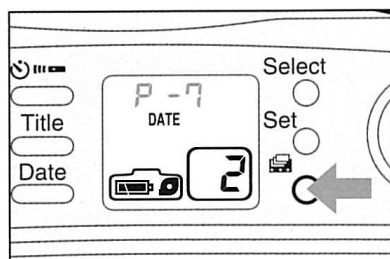
この操作を行うと、同時プリント時のプリント枚数（0～9枚）を指定することができます。焼き増しの手間をはぶいたり、撮影に失敗したコマをプリントしたくないときに便利です。なお、プリント枚数指定の設定・修正ができるのはこれから撮影する1コマと撮影直後の1コマだけです。

- ネガフィルム装填時のプリント枚数は、1枚（P-1）に自動設定されています。
- リバーサルフィルム装填時のプリント枚数は、0枚（P-0）に自動設定されています。

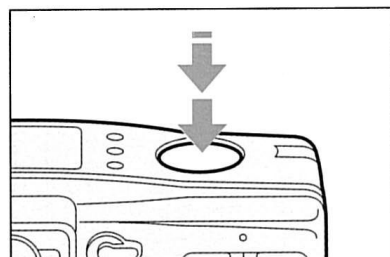
これから撮影するコマのプリント枚数指定



- 1** **☑ ボタンを押す。**
- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。
 - ➔ 表示パネルにP-1（1枚プリント）が点灯表示されます。

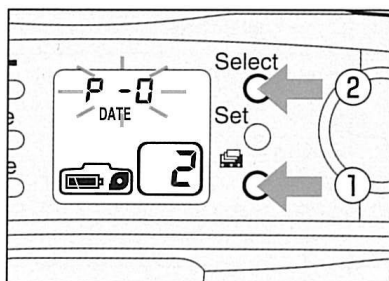



- 2** **希望するプリント枚数が点灯表示されるまで ☑ ボタンを押す。**
- ➔ P-1、P-2...P-9、P-0、P-1の順に循環します。



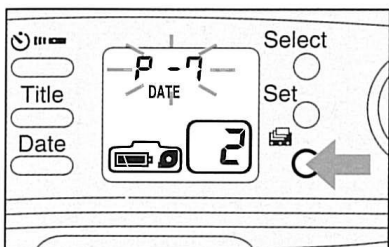
- 3** **撮影する。**
- ➔ 1枚撮影するとプリント枚数指定が解除され、通常の1枚プリントとなります。


撮影直後のコマのプリント枚数指定



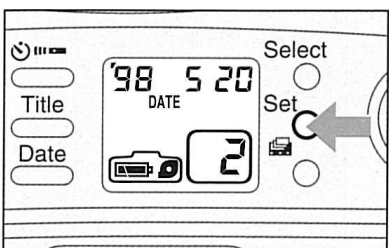
1  ボタンを押してから
①、Selectボタンを2
秒以上押す②。

- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。
- ➔ 表示パネルにP-0（プリントなし）が点滅します。



2 希望するプリント枚数が点滅表示されるまで  ボタンを押す。


- ➔ P-1、P-2...P-9、P-0、P-1の順に循環します。



3 Setボタンを押す。




- ➔ フィルムを1コマ巻き戻して、プリント枚数を書き換えます。
- 設定が完了し、日付/時刻表示になります。



- 撮影前、撮影後とも設定完了前に電源OFF操作を行うと設定前の状態にリセットされます。
- 電池交換でデート表示が「----」ではプリント枚数指定できませんのでデート設定してからプリント枚数指定を行ってください。
-  ボタンは1回押すと1つ進み、押し続けると連続送りになります。
- プリント枚数指定は、現像・プリント店によってできない場合があります。

こんなときは

「故障かな?」と思っても、修理に出す前にもう一度次の表を参考にして確認してください。

症状	原因	解決方法	ページ
電池チェックマーク  が点滅する。	● 電池が消耗している。	● 新しい電池と交換する。	31
電池チェックマーク  が表示されない。	● 電池が入っていない。 ● 電池が逆向きに入っている。 ● 電池が完全に消耗している。	● 電池を入れる。 ● 電池を正しく入れ直す。 ● 新しい電池と交換する。	31 31 31
シャッターがきれない。	● 電源が入っていない。 ● 電池が消耗している。 ● 撮影済のカートリッジがカメラに入っている。 ● 赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間はシャッターがきれない。	● 電源を入れる。 ● 新しい電池と交換する。 ● カートリッジを取り出して新しいカートリッジを入れる。 ● シャッターがきれるまで押し続ける。 ● ストロボモードをきり換える。	20 31 18、 29 34 32
写真がボケて写っている。	● シャッターをきるときに、AF投・受光部をおおっていた。 ● セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した。 ● シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ぶれ)。 ● AF投・受光部が指紋などで汚れている。	● 髪や指などでAF投・受光部をおおわないように気を付ける。 ● カメラの直前に立たないように気をつける。 ● シャッターボタンを静かに押す。 ● 汚れをふきとる。	22 43 27 22
表示パネルに「H」が表示される。	● 自己診断機能で異常を検出した。	● 電池を一度取り出し、「H」表示が消えてから、入れ直す。	31
ストロボが光らない。	● ストロボ発光部を押し込んでいた。	● ストロボ発光部を押さえないようにする。	22
フィルムカウンターが「0」なのにカートリッジ室ふたが開かない。	● 巻き戻し後のトラブル。	●  ボタンを押す。	29

Q & A

- Q1** 従来の135 (35mm) フィルムは使えますか？
A1 いいえ、使うことはできません。IX240カートリッジフィルムをご使用ください。
- Q2** リバーサルフィルムは使えますか？
A2 はい、使うことができます。
- Q3** フィルム感度 (ISO) とは何ですか？
A3 フィルムが光を感じる度合を数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。
- Q4** デートを写し込んだのに、インデックスプリントでは写っていないのですが？
A4 このカメラはデートやタイトルをフィルムに磁気で記録しており、現像・プリント時にそのデータを読みとり、印字します。このため、データはインデックスプリントには写し込まれない場合があります。
- Q5** このカメラの焦点距離23~69mmを35mm判カメラに換算するとどのくらいですか？
A5 約29~87mm (Hタイプ時) になります。

主な仕様

- 形式……………ズームレンズおよび磁気IX機能内蔵、IX240レンズシャッター式AF全自動カメラ
- 画面サイズ……………16.7×30.2mm
- レンズ……………キヤノンレンズ23—69mm F4.5—9.9
- 焦点調整……………アクティブ・パッシブ・ハイブリッドオートフォーカス
- 撮影距離……………0.6m～∞
- シャッター形式……………絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
- ファインダー……………実像式ズームファインダー
- プリント視野率……………約90%
- ファインダー情報……………ファインダー内：撮影範囲枠、AFフレーム、近距離撮影範囲枠
- ファインダー接眼部……………撮影OKランプ兼近距離警告（緑ランプ）、手ぶれ警告、ストロボ充電完（オレンジランプ）
- フィルム装填……………自動（自動空送り付き）
- フィルム巻き上げ……………自動
- フィルム巻き戻し……………自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能
- フィルムカウンター……………順算式、フィルムの移動に連動
- セルフタイマー……………電子制御式、シャッターボタンにより作動、約10秒後リリース、ボディ正面赤目緩和ランプ点滅表示、フィルムカウンターに残り秒時カウントダウン
- リモートコントロール機能（RC-5使用時）
……………赤外光を利用した専用リモコンシステム
送信ボタンにて作動、2秒後リリース
作動距離範囲：約5m以内
電池寿命 約6000回
- 測光作動範囲（ISO 100）
ストロボオート／ストロボONモード：
 広角：1/100 F/4.5～1/500 F/16（約EV11～EV17）
 望遠：1/100 F/9.9～1/350 F/19（約EV13.3～EV17）
ストロボOFF／スローシンクロモード：
 広角：2" F/4.5～1/500 F/16（約EV3.4～EV17）
 望遠：2" F/9.9～1/350 F/19（約EV5.7～EV17）
- 露出補正……………逆光のとき、必要に応じて+1.5段の自動露出補正
- フィルム感度……………ISO 25～10000、1/3段ごとに自動セット

内蔵ストロボ……………低輝度、逆光時自動発光式内蔵型ストロボ
ストロボ連動範囲……………広角：0.6～4.4m；望遠：0.6～2.0m
(カラープリント用フィルムISO100使用時)

ストロボ充電時間……………約7秒

ストロボ切り換え……………ストロボモードボタンによる

- ① ストロボオートモード：低輝度、逆光時自動発光
- ② ストロボオート赤目緩和ありモード：低輝度、逆光時自動発光
- ③ ストロボONモード：常時発光
- ④ ストロボOFFモード：発光禁止
- ⑤ スローシンクロモード：常時発光（赤目緩和あり）

デート／タイトル機能……………

方式：液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵

オートカレンダー（西暦2029年まで、うるう年自動修正）

記録データ：日付／日付＋時間、タイトル（6言語各5通り）

文字形状：プリント店機器の仕様による

印字の色：プリント店機器の仕様による

電源……………リチウム電池 CR2タイプ 3V 1個

撮影可能本数……………25枚撮りフィルム 約8本

(ストロボ50%使用時)

大きさ……………95（幅）×64.5（高さ）×32（奥行）mm

質量……………205g（電池別）

- ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
- 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス窓口にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

カメラ相談室（製品取り扱い方法ご相談窓口）

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

☎(03) 3455-9353

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

〒060-0807 札幌市北区北七条西1-1-2（SE山京ビル1F）

☎(011) 728-0665

〒980-8560 仙台市青葉区国分町3-6-1（仙台パークビル1F）

☎(022) 217-3210

〒950-0914 新潟市紫竹山1-10-26

☎(025) 246-8765

〒331-0852 大宮市桜木町4-247（OSビル1F）

☎(048) 649-1450

〒260-0843 千葉市中央区末広2-13-2

☎(043) 268-5261

〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-9

☎(03) 3573-7834

〒163-0290 東京都新宿区西新宿2-6-1（住友三角ビル地下1F）

☎(03) 3348-4725

〒220-0004 横浜市西区北幸2-6-26（HI横浜ビル2F）

☎(045) 312-0211

〒420-0034 静岡市常磐町2-6-8（トーカイビル3F）

☎(054) 253-9010

〒461-8511 名古屋市東区東桜2-2-1（高岳パークビル1F）

☎(052) 939-1830

〒920-0853 金沢市本町1-5-2（リファール1F）

☎(076) 233-6608

〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町513（京都第一生命泉屋ビル2F）

☎(075) 255-5953

〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12（梅田センタービル別館）

☎(06) 373-8181

〒651-0096 神戸市中央区雲井通り4-2-2（神戸いすゞリクルートビル8F）

☎(078) 291-0535

〒700-0904 岡山市柳町2-6-25（朝日生命岡山柳町ビル3F）

☎(086) 221-8678

〒730-0051 広島市中区大手町3-7-5（広島パークビル1F）

☎(082) 240-6712

〒760-0027 高松市紺屋町4-10（鹿島紺屋町ビル1F）

☎(087) 823-4681

〒812-0017 福岡市博多区美野島1-2-1（キヤノン販売福岡ビル1F）

☎(092) 411-4173

〒900-0032 那覇市松山1-1-19（安田生命那覇ビル8F）

☎(098) 866-7933

カメラ技術センター（修理サービスご相談窓口）

〒140-0002 東京都品川区東品川1-2-5（東信天王洲ビル5F）

☎(03) 3450-2731

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3

☎(06) 941-1076

営業所

〒870-0045 大分市城崎町1-3-31（富士火災大分ビル）

☎(0975) 37-4117

休業のご案内

新宿（日曜日、祝日、第3木曜日） その他（土・日曜日、祝日）

営業時間のご案内

新宿：10:00～18:00 梅田：9:30～18:00 その他：9:00～17:30